

第4回 桐生市総合計画審議会 議事要旨

○日 時 平成31年3月5日(火) 午後1時30分～午後3時30分

○場 所 桐生市役所 6階 特別室

○出席者 25名

【審議会】13名

会 長：群馬大学大学院理工学府 特任教授	宝田 恭之
副会長：桐生市総合教育会議 教育委員	新居 理恵
委 員：桐生商工会議所 会頭	山口 正夫
桐生市農業委員会 会長	鎌塚 大作
桐生市区長連絡協議会 副会長	田所 武男
きりゅう市民活動推進ネットワーク 代表	近藤 圭子
桐生市子ども・子育て会議 会長	尾花 悦子
桐生市医師会 理事	鈴木 康郎
桐生市まちづくり検討委員会 委員	金井 昌信
桐生市環境先進都市将来構想推進協議会 委員	佐羽 宏之
桐生市婦人団体連絡協議会 会長	鈴木 英子
公募市民	奥村 千鶴子
公募市民	河村 英輝

(欠席者)

委 員：桐生市社会福祉協議会 副会長	塚田 征子
桐生青年会議所 副理事長	葉山 勇
新里地域懇談会 会長	松島 孝三
黒保根地域懇談会 会長	金子 敬

【桐生市】8名

<事務局>副市長	鳥井 英雄
桐生市総合政策部長	和佐田 直樹
桐生市総合政策部企画課長	田島 規宏
桐生市総合政策部企画課企画担当係長	金子 英雄
桐生市総合政策部企画課総合戦略推進担当係長	金子 秀明
桐生市総合政策部企画課企画担当	小松 直也
桐生市総合政策部企画課企画担当	村田 健太
桐生市総合政策部企画課総合戦略推進担当	馬場 秀穂

【計画策定支援事業者】1名

株式会社ぎょうせい

【傍聴者】なし

【報道機関】1社

○会議内容

1 開会 [開始：午後1時30分]

- ・事務局より、過半数以上の委員の出席により会議が成立することを報告。

2 会長挨拶

- ・宝田会長より挨拶。

3 議題

- ・議事進行は、桐生市総合計画審議会規則第4条の規定により、会長が議長として行う。

(1) 施設体系（案）について

- ・資料18に基づき、事務局より説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

会長	<p>前回の委員各位の意見をもとに事務局で章や項、あるいは内容について変更してもらったわけであるが、いかがか。</p>
委員	<p>まず1点目として、自然環境保全について、前回の会議での生活環境と自然環境が同じ章だと違和感があるという意見より、「水と緑の保全」と「公園・緑地の整備」という形に項の組替え、新設を行い、3章「生活環境の整備」から5章「都市基盤の整備」に位置付けを変更しているが、個人的には、交通や住環境など人為的なインフラ整備を位置付けている5章の中に自然環境保全を位置付けることには違和感がある。</p> <p>次に2点目として、6章のタイトルは「計画推進のために」であるが、他の5つの章のタイトルは体言止めになっているので統一した方がいいと思う。</p> <p>最後に3点目として、5章5項「住環境の充実」については、3章「生活環境の整備」に位置付ける方がしっくりくるのではないか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>まず1点目については、自然環境保全の必要性は十分に認識しているが、現時点で市として主体的に取り組める範囲がかなり限定されており、自然環境保全だけで一つの章立てとすることは難しいという点をご理解いただきたい。その中で、前回の意見や章と庁内部局との関連性（自然環境整備は都市整備部公園緑地課、河川は都市整備部土木課）から5章「都市基盤の整備」に位置付けることとさせていただいた。</p> <p>次に2点目については、バランスを考えれば委員ご指摘のとおりであるので事務局で検討して、修正ができれば改めてご提案させていただく。</p> <p>最後に3点目については、5章5項「住環境の充実」は住宅政策を主に扱う部分になるので、1点目と同様に章と組織の関連性（住宅政策は都市整備部建築住宅課）から5章に位置づけた。</p>
委員	<p>6章の「計画推進のために」という言葉は、本来、計画の最初か最後に冠的なもので入った方が良いと思う。前回の意見を踏まえ名称が変更となったわけだが、「協働」という言葉は基本テーマ（理念）にあった方が良いと思うし、章の名称としても残っていた方がなお一層良いのではないかとと思う。市民が計画を見て何をやるのかわかるもの、市民に一番近いものと</p>

	して「協働」という言葉が入っていないと、また、総合計画は行政がやるものと思われてしまうのではないかと感じた。
会長	6章のタイトルに関しては複数の方から意見があり、ここだけ論調も違うので、事務局でもう一回検討するという事でいかがか。
事務局 (企画課長)	まちづくりの基本テーマ(理念)に「協働」といったキーワードそのものが入ってくれば、計画全般を推進するための考え方という事で最初に位置づける事はできるかもしれない。この後の議題(2)でご協議いただければと思う。
委員	そもそも1~6章の順番はこれで固定なのか。6章を最初に持ってくれば、語尾は他の5つの章のように体言止めでなくても、市民に訴えかけるようなものとして1章に入ってきてもいいのではないか。さらに言えば、章の中の項の順番もこれで決定なのか。先ほど自然環境保全の位置付けがまだしっくりこないという意見もあったが、それぞれの章でそれに関する事とか住民参加が大事ということであれば、項レベルで前のほうに並べることで重要視しているようなレイアウトにできると思う。
事務局 (企画課長)	順番は固定ではない。現案は今までの計画の順番を踏襲する形で構成している。他市との比較で言えば、「産業経済の振興」を1章にしているのは珍しいケースかもしれない。他市の計画では「教育・文化の向上」や「健康・福祉の増進」が前の方の章であるケースが多い。桐生市のこれまでの歴史的な背景があるため「産業経済の振興」が1章となっているのかもしれない。そういった中で、中身に影響が無ければ、この後の作業の中で順番を変える事はできるかと考えている。
会長	その他はどうか。例えば「中心市街地」や「産学官連携」という言葉が無くなる事についてはどうであろうか。
委員	まず、先ほどの話に戻るが、6章は位置付けとして他の章と並列ではなく、全体に係ってくるものではないかと思う。 また「産学官連携」については、6章「計画推進のために」の中に入れてもいいのではないか。いろいろな場面において、推進していくためには必要であると思う。 そして、5章「都市基盤の整備」内の「水と緑の保全」に関しては「保全」に加えて「活用」という部分があってもいいのではないか。総合戦略の中でも水と緑は21世紀の戦略的資源という捉え方をしており、「保全」に留まっては意味が無い。桐生は水資源も森林資源も豊富であるから、この辺を活用する事によって新しい切り口が出てくる気もするので「保全」で留まると寂しい気もする。
事務局 (企画課長)	6章は他と並列ではないという意見については承知した。 また「産学官連携」については、委員のご指摘のとおりであり、項立てできるかは分からないが、6章のいずれかの項の中で取り扱っていかなく

	<p>ればならないと現時点では考えている。</p> <p>そして自然環境の資源としての「活用」については、組織と連動していく観点からすると、水は水道局の事務分掌であるわけだが、自然環境としての水をどう扱っていくかという、現時点で水道局の範囲としては及んでいない。また、それを生かした産業振興も可能性は十分あるものの、市の業務としてはそこまで及んでいないという現状もある。その中で、「保全」に関しては、都市整備部の事務分掌であるが、産業分野もそうであるし、環境課という部署もあり、その中で自然環境も取り扱っている。総合戦略でも水資源を活用した施策の推進を位置付けているが、組織との連動という部分で、まだ具体的な成果は現れていない現状がある。その中で、現時点では5章「都市基盤の整備」以外で活用策を明確化して提案する事ができなかったが、1章「産業経済の振興」、3章「生活環境の整備」、5章「都市基盤の整備」のいずれかの章内の項において、施策レベルで委員ご指摘の案が盛り込めるかどうか、この後、検討してまいりたいと考えている。</p>
委員	<p>水源の活用の中で、梅田の工場の中でボトルドウォーターを作る設備を併設するような話を聞いたが、もうそういった設備ができていないのか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>梅田浄水場の事だと思うが、そういった施設を将来的に設けられるようなことを想定して計画はされているようだが、浄水場自体もまだ完成しておらず、具体的にどういう施設ができるということは伺っていない。</p>
委員	<p>もう既に出来ているような話をかつて聞いた気がしたのでお聞きした。</p> <p>別の話になるが、原木市場は森林資源の活用のためのものではないのか。現にそういうことを進めているのであれば、計画に位置付けがあつて然るべきはないかと思う。</p> <p>また、「中心市街地」が抜けているが、市が考える桐生の顔というものが、中心市街地が抜けたことによってはっきりしなくなってしまうと思うがそれでいいのか。コンパクトシティを目指す中で、「中心」という言葉で無くても「誘導地域の活性化」のような、なにかひとつ旗を立てる必要があるのではないか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>できる範囲の自然環境の活用については、施策レベルでできる限り表現していきたいと考えている。例えば、林業に関しては、1章1項「農林業の活性化」に複合木材市場に関する施策が入ってくるという形で考えている。</p> <p>中心市街地の活性化については、現行計画では、今回の提案でいうところの5章「都市基盤の整備」のハード面の整備のところだけに位置付けられていたが、ソフト面である「商工業の活性化」の施策推進も必要であるので、両面からの中心市街地の活性化策、これを計画の中で位置付けたいと考えており、項立てすると、先ほどの自然環境保全と同様、どちらかの章に位置付けなければいけないため、今回は1章、5章それぞれの施策レベルで記載をしていきたいと考えており、決して計画の中から「中心市街地」という言葉が消えるわけではないという事をご理解いただきたい。</p>

委員	<p>中心市街地の関係で、現在、群馬銀行桐生支店が建替え工事を行っているが、その一部を桐生市が賃貸借契約をして観光案内所になるのか。本町五丁目に観光案内所ができて周辺が活性化していないと、外からきた観光客の印象も良くない。玄関口である駅周辺や観光案内所周辺の整備とまちづくりをリンクしていく必要があると考える。</p>
事務局 (企画課長)	<p>観光案内所に関する件については、新聞報道等でご覧いただいているかもしれないが、基本的にはご承知のとおりである。賃貸借契約など詳細な情報については把握していないが、群馬銀行の方で用意していただく施設を市が活用して、観光案内機能や物産振興機能を設けて市街地の活性化や観光誘客に活用していく予定となっている。</p>
会長	<p>群馬銀行の敷地内のみで終わってしまうのか。あの地点を中心市街地とすれば、良い機会だから、それを活用して周りを整備していく予定はないのか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>そういった事をこの計画の中で、1章2項「商業の活性化とにぎわいづくり」の施策分野で「(商業)」と表記しているが、ここに「(中心商店街の活性化)」と表記されていいのかもしれない。それが無いからイメージしていただけないかもしれない。5章でいうと3項「土地利用と都市景観の形成」の施策分野として「(土地利用・都市景観)」とあるが、ここに「(コンパクトシティ)」と入ってくるかもしれない。</p>
会長	<p>そのとおり、施策分野のカッコ表記を上手く活用すれば比較的分かりやすくなるかもしれない。</p> <p>他はいかがか。6章の取り扱いについては、次回までに考える事にするか。また、水、緑、森林等の資源については「保全」だけでなく「活用」まで含めた形のものにするか。</p>
委員	<p>6章の項目に「産学官の連携」を入れるという事であれば、「民」を加えた「産学官民の連携」とするのはどうか。</p>
会長	<p>そのとおりだと思う。特に桐生は今、「産官学民」が連携して様々な施策ができるという事を日本中に示しているところであるから、ぜひ加えていただきたい。他はいかがか。</p>
委員	<p>細かいところだが、項のタイトルで語尾が「充実」「活性化」「推進」など何種類かあるが、どういう場合に何をを使うといった明確な基準はあるのか。もし無いのであれば統一してもいいと思う。</p>
事務局 (企画課長)	<p>意図的に設定したものではなく現行計画の踏襲なので、再度そういった視点で見て、統一がとれるのであれば可能な限り統一したいと思う。</p>
委員	<p>特に気になるのは、6章2項「男女共同参画社会の実現」だけ語尾が「実現」になっており、これでは現時点で実現していないようにもとられかね</p>

	ない。現実として決してそんなことはないので、他とあわせて「推進」または「充実」などとした方が良いと思う。
会長	そこは事務局でもう一度見直していただければ。
委員	5章2項「公共交通の活性化」は、これから高齢化社会を迎える中で、「公共交通の充実」の方がいいかもしれないが、この辺はひとつ大事な項目になると思う。
委員	公共交通だけだと日常の動きはとれないので「生活交通」の方がいいと思う。充実でもいいかもしれないが、公共交通という範囲でいいか考えた方がいいと思う。
会長	そこまでいくと他のものと複雑に絡み合ってくるから、単に5章の「都市基盤の整備」の中の公共交通だけではない。非常に重要なところで福祉も関係してくる。施策分野のカッコの中でその辺の関係性も分かってくるといいかもしれない。
委員	今までの議論を踏まえて、前回の資料で各項目のレイアウト案が出ていたが、ひとつひとつの項目で皆さんいろいろな思いがあると思うが、基本方針が見えないところでこうした方がいいという意見が出ている。もちろん、基本方針とか理念とか将来のまちというものが無ければここは埋まらないかもしれないが。今後、進めていく中で基本方針が見えるような形で議論すると、これは取り残されていないじゃないかといった進め方ができると思う。
事務局 (企画課長)	ご指摘のとおり、現時点でこの体系をまず固めないと、その中身をこの後、担当部局に提案させる事が難しい。一度どこかで固めていただいて、その状態の枠組みの中で、まずは基本方針やその下の各施策といったものを担当部局に提案してもらおう。それをまた審議会で、その施策はこの枠組みに収まっているのか、あるいは項のタイトルはそれでいいのか、そういった事を改めてチェックしていただければと考えている。
会長	6章をどうするかが大きな検討になると思うが、それ以外の部分については協議内容を吸収できるよう事務局にお願いしたい。 それでは、全体のスケジュールもあるので、次回、今日の意見や修正案を踏まえた修正版が出てくるが、施策体系に関する全体の方向性としてはこの考え方をもち進めていくということによろしいか。
	一同承認。
会長	それと、前回、施策体系と併せて、資料13で基本計画のレイアウトも示されていたが、こちらについては実質的には承認ということであったが、施策体系の承認を待って正式に承認しようということであったので、本日、これをもって正式に承認するということがよろしいか。

	一同承認。
--	-------

(2) 将来都市像及びまちづくりの基本テーマ（理念）の検討について

- ・資料 15 に基づき、事務局より説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

会長	まずは、基本テーマを考えていきたい。今までは短い言葉で示してきたが、理念であるから文章化してもかまわない。何をもって桐生のまちづくりの基本テーマとするか。
委員	「つながり」や「絆」という言葉を使ってはどうか。
委員	先ほどの議題（1）で基本テーマには「人と自然の共生」「協働によるまちづくり」が入ったら良いのではという意見もあったので、それも踏まえたものになると良い。
会長	事前提出された意見でも、人と人、また産学官民といったところで、「つながり」「絆」と同じような意味合いの意見が多い。この場ですぐに決定する事が難しいということであれば、そういった内容を含めた形で次回までに正副会長と事務局で案を作成する方向としたい。作成するためにも意見がたくさん出るとありがたいが、いかがか。
委員	前回の「伝統と創造、粋なまち桐生」は理念ではなく将来都市像であるが、改めて読み返すと、これは良い都市像だと思う。
委員	基本的に意見は事前提出しているので、そこから正副会長と事務局に案を作成してもらうことについては大いに賛成である。 ただ、個人的には「絆」という漢字一文字はなるべく使いたくないと思っている。この言葉は、東北の震災をきっかけに使う機会が非常に増えており、人付き合いの大切さを感じる言葉であると前向きに捉える人が多いと思うが、私は防災の研究者の1人として、本質的な問題を全て人と人のつながりに覆い隠してしまい、問題に踏み込んでいないことに違和感があり、あまり好きな言葉ではない。桐生市にも似た部分があり、本当に解決しなければいけない問題をオブラートに包んで、みんなで協力してがんばりましょうと、どんどん本質を隠しているように見えなくもない。「つながり」は良いと思うが、「絆」を使う事には抵抗がある。
会長	たしかに、日本では特殊な印象を持つかもしれない。 それでは、正副会長、事務局で案を作成するという事でよろしいか。
	一同承認。
会長	続いて将来都市像についてご議論いただきたい。

委員	短い言葉に凝縮できると良い。文章になると覚えられないので、覚えやすいものの方がいいと思う。
会長	前回の計画の時も将来都市像を決める事に苦勞し、最後までなかなか決まらなかった。こちらもこの場でなかなか出ないと思うので、基本テーマ同様、次回までに案を作成させていただく形でよろしいか。
	一同承認。
事務局 (企画課長)	<p>それでは、正副会長と事務局で相談して、将来都市像、まちづくりの基本テーマ（理念）について、それぞれ複数案を出来るだけ用意した上で、次回は具体的な議論をしていただけるように準備したいと思う。</p> <p>それと、表現方法についての確認になるが、将来都市像については概ね「～なまち」という事で表現ができると思うが、基本テーマ（理念）についてはパターンとして二つあり、一つは現行計画のように説明文を付随させる形でキーワードを並べる方法、もう一つは文章的なもので表現していく方法があると思う。これについて、案を作る上で、参考にご意見をいただければと思う。</p>
委員	分かりやすさと伝わりやすさを考えると文章のほうが良いと思う。キーワードを並べる方法は、結局、それぞれに付随する説明文が必要になる。
会長	そのほうが基本テーマとしてはいいかもしれない。それでは、それを踏まえて案を作成したいと思う。

(3) その他

- ・事務局より、今後の予定について説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

委員	今日の議題でもあった総合計画の施策体系について、章と項の並びの議論があったが、市民アンケートの結果を踏まえて順番を付けられれば、より見映えがいいものが出ると思う。よろしければ、事務局よりデータを提供いただき、アンケートの解析を行い、次回の会議資料として分かりやすい形で結果をお示ししたいと考えるが、よろしいか。
	一同承認。

4 その他

- ・事務局より、次回の開催日程について事務連絡。

5 閉会 [終了：午後3時30分]